【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和6年7月8日(2024.7.8)

【国際公開番号】WO2023/080160
【出願番号】特願2023-558052(P2023-558052)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｗ 74/0833(2024.01)
Ｈ０４Ｗ 72/0453(2023.01)
Ｈ０４Ｗ 4/70(2018.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｗ 74/0833
Ｈ０４Ｗ 72/0453
Ｈ０４Ｗ 4/70

【手続補正書】
【提出日】令和6年4月19日(2024.4.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コントロールリソースセット（ＣＯＲＥＳＥＴ）＃０の帯域幅を設定するための情報を含むマスタ情報ブロック（ＭＩＢ）を基地局（２００）から受信し、初期下りリンク帯域幅部分の周波数ドメインにおける位置及び帯域幅を示す第１情報を含むシステム情報ブロック（ＳＩＢ）を前記基地局から受信する受信部（１２１）と、
初期アクセスのためのランダムアクセス手順を実行する制御部（１４０）と、を備え、
前記制御部は、初期下りリンク帯域幅部分の周波数ドメインにおける位置及び帯域幅を示す第２情報が前記ＳＩＢに含まれ、かつ、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分が前記ＣＯＲＥＳＥＴ＃０の帯域幅の全体を含まない場合、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分において前記ランダムアクセス手順を実行する
通信装置（１００Ｂ）。
【請求項２】
前記制御部は、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分が前記ＣＯＲＥＳＥＴ＃０の帯域幅の全体を含む場合、前記ＣＯＲＥＳＥＴ＃０の帯域幅において前記ランダムアクセス手順を実行する
請求項１に記載の通信装置。
【請求項３】
前記受信部は、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分において、前記ランダムアクセス手順におけるメッセージ２及びメッセージ４を前記基地局から受信する
請求項１又は２に記載の通信装置。
【請求項４】
前記受信部は、前記第２情報が前記ＳＩＢに含まれない場合、かつ、前記第１情報によって示される前記帯域幅が前記通信装置のサポートする最大帯域幅を越えない場合、前記第１情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分において、前記ランダムアクセス手順におけるメッセージ２及びメッセージ４を前記基地局から受信する
請求項１又は２に記載の通信装置。
【請求項５】

前記受信部は、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分が前記ＣＯＲＥＳＥＴ＃０の帯域幅の全体、及び、同期信号及び物理ブロードキャストチャネルブロック（ＳＳＢ）の帯域幅を含む場合、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分のページングに対するサーチスペースを設定するための情報を前記基地局から受信し、
前記制御部は、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分における前記サーチスペースにおいて、前記ページングに対する物理下りリンク制御チャネル（ＰＤＣＣＨ）を監視する
請求項１又は２に記載の通信装置。
【請求項６】
コントロールリソースセット（ＣＯＲＥＳＥＴ）＃０の帯域幅を設定するための情報を含むマスタ情報ブロック（ＭＩＢ）を通信装置（１００Ｂ）へ送信し、初期下りリンク帯域幅部分の周波数ドメインにおける位置及び帯域幅を示す第１情報を含むシステム情報ブロック（ＳＩＢ）を前記通信装置へ送信する送信部（２２２）と、
前記通信装置の初期アクセスのためのランダムアクセス手順を実行する制御部（２４０）と、を備え、
前記制御部は、初期下りリンク帯域幅部分の周波数ドメインにおける位置及び帯域幅を示す第２情報を前記ＳＩＢに含め、かつ、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分が前記ＣＯＲＥＳＥＴ＃０の帯域幅の全体を含まない場合、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分において前記ランダムアクセス手順を実行する
基地局（２００）。
【請求項７】
前記制御部は、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分が前記ＣＯＲＥＳＥＴ＃０の帯域幅の全体を含む場合、前記ＣＯＲＥＳＥＴ＃０の帯域幅において前記ランダムアクセス手順を実行する
請求項６に記載の基地局。
【請求項８】
前記送信部は、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分において、前記ランダムアクセス手順におけるメッセージ２及びメッセージ４を前記通信装置へ送信する
請求項６又は７に記載の基地局。
【請求項９】
前記送信部は、前記第２情報を前記ＳＩＢに含めない場合、かつ、前記第１情報によって示される前記帯域幅が前記通信装置のサポートする最大帯域幅を越えない場合、前記第１情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分において、前記ランダムアクセス手順におけるメッセージ２及びメッセージ４を前記通信装置へ送信する
請求項６又は７に記載の基地局。
【請求項１０】
前記送信部は、
前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分が前記ＣＯＲＥＳＥＴ＃０の帯域幅の全体、及び、同期信号及び物理ブロードキャストチャネルブロック（ＳＳＢ）の帯域幅を含む場合、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分のページングに対するサーチスペースを設定するための情報を前記通信装置へ送信し、
前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分における前記サーチスペースの物理下りリンク制御チャネル（ＰＤＣＣＨ）で、前記ページングに対する下りリンク制御情報を前記通信装置へ送信する
請求項６又は７に記載の基地局。
【請求項１１】
通信装置（１００Ｂ）で実行される通信方法であって、
コントロールリソースセット（ＣＯＲＥＳＥＴ）＃０の帯域幅を設定するための情報を含むマスタ情報ブロック（ＭＩＢ）を基地局（２００）から受信し、初期下りリンク帯域幅部分の周波数ドメインにおける位置及び帯域幅を示す第１情報を含むシステム情報ブロ

ック（ＳＩＢ）を前記基地局から受信するステップと、
　初期アクセスのためのランダムアクセス手順を実行するステップと、を備え、
　前記ランダムアクセス手順は、初期下りリンク帯域幅部分の周波数ドメインにおける位置及び帯域幅を示す第２情報が前記ＳＩＢに含まれ、かつ、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分が前記ＣＯＲＥＳＥＴ＃０の帯域幅の全体を含まない場合、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分において実行される
　通信方法。
【請求項１２】
　前記ランダムアクセス手順は、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分が前記ＣＯＲＥＳＥＴ＃０の帯域幅の全体を含む場合、前記ＣＯＲＥＳＥＴ＃０の帯域幅において実行される
　請求項１１に記載の通信方法。
【請求項１３】
　前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分において、前記ランダムアクセス手順におけるメッセージ２及びメッセージ４を前記基地局から受信する
　請求項１１又は１２に記載の通信方法。
【請求項１４】
　前記第２情報が前記ＳＩＢに含まれない場合、かつ、前記第１情報によって示される前記帯域幅が前記通信装置のサポートする最大帯域幅を越えない場合、前記第１情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分において、前記ランダムアクセス手順におけるメッセージ２及びメッセージ４を前記基地局から受信する
　請求項１１又は１２に記載の通信方法。
【請求項１５】
　前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分が前記ＣＯＲＥＳＥＴ＃０の帯域幅の全体、及び、同期信号及び物理ブロードキャストチャネルブロック（ＳＳＢ）の帯域幅を含む場合、前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分のページングに対するサーチスペースを設定するための情報を前記基地局から受信するステップと、
　前記第２情報に基づく前記初期下りリンク帯域幅部分における前記サーチスペースにおいて、前記ページングに対する物理下りリンク制御チャネル（ＰＤＣＣＨ）を監視するステップと、を更に備える
　請求項１１又は１２に記載の通信方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
　ＵＥ１００には、例えば、ＲＲＣメッセージに含まれる情報（例えば、下りＢＷＰ用の情報（すなわち、ＢＷＰ－Ｄｏｗｎｌｉｎｋ）及び上りＢＷＰ用の情報（すなわち、ＢＷＰ－Ｕｐｌｉｎｋ））に基づいて、専用ＢＷＰが設定される。専用下りＢＷＰ用の情報及び専用上りＢＷＰ用の情報のそれぞれに、例えば、周波数ドメインにおける位置及び帯域幅を示す情報（例えば、ｌｏｃａｔｉｏｎＡｎｄＢａｎｄｗｉｄｔｈ）、サブキャリア間隔を示す情報（例えば、ｓｕｂｃａｒｒｉｅｒＳｐａｃｉｎｇ）、及び、拡張サイクリックプレフィックスを示す情報（例えば、ｃｙｃｌｉｃＰｒｅｆｉｘ）の少なくともいずれかの情報が含まれてよい。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７４
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００７４】
ＳＩＢ１は、一般ＵＥ１００Ａに用いられる初期ＢＷＰ（一般ＵＥ１００Ａ用の初期ＢＷＰ）を設定するための第１共通設定情報（例えば、周波数位置及び／又は帯域幅を示すパラメータ（ｌｏｃａｔｉｏｎＡｎｄＢａｎｄｗｉｄｔｈ））を含む。具体的には、ＳＩＢ１は、ＵＥのセル（サービングセル）のセル固有パラメータを設定するために用いられる情報要素（ＳｅｒｖｉｎｇＣｅｌｌＣｏｎｆｉｇＣｏｍｍｏｎＳＩＢ）を含む。ＳｅｒｖｉｎｇＣｅｌｌＣｏｎｆｉｇＣｏｍｍｏｎＳＩＢは、第１共通設定情報として、下りＢＷＰの共通パラメータを設定するために用いられる情報要素（ＢＷＰ－ＤｏｗｎｌｉｎｋＣｏｍｍｏｎ）及び上りＢＷＰの共通パラメータを設定するために用いられる情報要素（ＢＷＰ－ＵｐｌｉｎｋＣｏｍｍｏｎ）を含む。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００８５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００８５】
レッドキャップＵＥ１００Ｂ（送信部１２２）は、セパレート初期ＢＷＰの周波数帯域が、ＭＩＢ初期ＢＷＰの周波数帯域を含むか否かを判定してよい。レッドキャップＵＥ１００Ｂ（送信部１２２）は、セパレート初期ＢＷＰの周波数帯域が、ＭＩＢ初期ＢＷＰの周波数帯域を含む場合、セパレート初期ＢＷＰ又はＭＩＢ初期ＢＷＰを用いてランダムアクセス手順を実行してよい。すなわち、レッドキャップＵＥ１００Ｂ（送信部１２２）は、セパレート初期ＢＷＰ又はＭＩＢ初期ＢＷＰを用いて、ＭＳＧ１を送信してよい。一方で、レッドキャップＵＥ１００Ｂ（送信部１２２）は、セパレート初期ＢＷＰの周波数帯域が、ＭＩＢ初期ＢＷＰの周波数帯域を含まない場合、セパレート初期ＢＷＰを用いてランダムアクセス手順を実行してよい。すなわち、レッドキャップＵＥ１００Ｂ（送信部１２２）は、ＭＩＢ初期ＢＷＰを用いずに、セパレート初期ＢＷＰを用いて、ＭＳＧ１を送信してよい。